

—山梨県内初の精神科医スポーツドクター—
峡西病院の精神科医がスポーツドクターとして活動を開始
スポーツ選手のメンタルケアと高齢者の健康を

特定医療法人南山会（所在地：山梨県南アルプス市下宮寺 421。理事長：川崎洋介。以下、当法人）で勤務する精神科医・認知症専門医の川崎洋介が、2025年10月1日に公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツドクターに認定されました。これにより、当法人では精神医療の経験を活かしたスポーツ選手のメンタルケアと、高齢者医療の経験を活かした高齢者の健康の維持増進を目指した活動を充実させていきます。



■ スポーツドクターとは

スポーツドクターとは、スポーツ選手や運動を楽しむ人の健康管理や怪我の予防・治療を専門に行う医師です。日本では、日本スポーツ協会（JSP0）が公認する「公認スポーツドクター」の資格制度があります。スポーツドクターの主な仕事は、選手の健康管理や定期チェック、栄養や休養のアドバイス、怪我の診断・治療、リハビリの計画作成、試合や合宿での救急対応などで、選手が安全かつ最大限の力を発揮できるよう支援します。また、選手以外にもジョギングやフィットネス、生活習慣病予防のための運動指導や健康チェックを行います。さらに、学校や地域のスポーツイベントでは安全管理や応急処置、体力づくりのアドバイスも担当し、幅広い世代が安心して運動を楽しみ、健康を維持できるようサポートします。現在、全国で約 6,500 人の公認スポーツドクターが活動しています。

■ 山梨県内初の精神科医スポーツドクター

このたび、精神科医として長年臨床に携わってきた川崎洋介医師が、山梨県内で初めて「日本スポーツ協会公認スポーツドクター」に認定されました。精神科医がスポーツドクターとして認定される

のは全国的にも非常に稀であり、特に山梨県内では初の事例となります。川崎医師は、精神医療の現場で培ってきた「心のケア」の専門性をスポーツの世界に応用し、競技に取り組む選手のメンタルサポートを行います。また、一般の方や高齢者に対しても、運動や生活習慣の改善による健康維持、怪我の予防や安全な運動方法の指導など、幅広い世代が安心して体を動かし、健康を保てるよう支援していきます。

■今後の展望

川崎医師は、精神医療の経験を活かしたアスリートへのメンタルサポートと、長年従事してきた高齢者医療の知見をもとに、地域に根ざした健康支援活動を展開していく予定です。具体的には以下のような取り組みを予定しています。

- ・部活動や地域スポーツ団体へのメンタルヘルス講習や相談支援
- ・心の問題を抱えるスポーツ選手への専門的カウンセリング
- ・高齢者の転倒予防や認知症予防に向けた医療・運動連携プログラムの開発

スポーツを通じて心と体の健康を支える医療を目指し、県内のスポーツ現場や地域高齢者の生活の質の向上に寄与してまいります。

■会社概要

- 【社名】 特定医療法人南山会
【設立】 1957年7月2日
【代表】 理事長 川崎 洋介
【住所】 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地 421
【事業内容】
精神科病院 峡西病院
障害者地域活動支援センター きがる館
訪問看護事業所 アルプス訪問看護ステーション
介護老人保健施設 峡西老人保健センター
就労継続支援B型事業所 アルプスファーム
【URL】 <https://www.nan-zan.or.jp/>

<お問い合わせ先>

特定医療法人南山会

TEL：055-282-2151（代表） 055-244-7120（直通） FAX：055-284-4886

担当：川口